

第1回東京都MICE連携推進協議会 開催概要

日時 平成29年5月24日(水曜日)15時30分から17時45分

場所 東京観光財団5階A・B会議室

出席者 平成29年度協議会委員17名(欠席者1名)

協議内容

- ・事務局からの説明(東京都のMICE誘致に向けた取組)
- ・観光庁からの説明(我が国におけるMICEの経済波及効果について)
- ・議事

開催概要

東京都MICE連携推進協議会が設置され、第1回の協議会では当財団から協議会や、東京都のMICE誘致に向けた取組としてプロモーション活動や各種の助成金などを紹介しました。観光庁からは、我が国におけるMICEの経済波及効果についてご報告いただきました。また、協議会を通じた官民連携のあり方やMICE施策の連携などを議論し、情報共有やMICE誘致のための意見をいただきました。課題については、第2回以降も引き続き検討することになりました。

委員からの主な意見(要旨)

【MICE誘致に係る情報共有について】

- 横の連携を作ることが重要。そのためには、各分野で具体的に議論していくことが必要となる。
- 適切な情報の集約箇所と協力体制、その課題の抽出と解決策について、議論を期待する。

【MICE誘致のための有効な方策について】

- 誘致のための役割分担については、実際に誘致したケース等具体的な材料をもとに、実用的な議論をしていくべきである。
- 具体的な材料を基に、お互いが力を結集することが必要である。

【MICEについての普及啓発について】

- MICE誘致がもたらす経済波及効果などを具体的に説明することが重要。
- 「MICE」という言葉は若い人にはなじみがない。誰が聞いても分かるようにするため、東京発の普及啓発が必要ではないか。
- MICE誘致に積極的に取り組む人材の育成も重要である。

【情報発信について】

- MICEの開催時にメディア等を活用して情報発信してはどうか。
- MICE主催者に対して、効果的な情報発信の仕方を検討していくことも必要である。

【ユニークベニューについて】

- ユニークベニューの利用を進めるには、施設と利用者の間をコーディネートするワンストップサービス機能が必要である。
- レセプション等でのユニークベニュー活用イメージがわかるように情報を発信していくとよいのではないか。